

第327回 日本体育大学長距離競技会

【出場結果】

実施日 : 4月12日(日) 5000m
会場 : 日本体育大学健志台陸上競技場
出場者 : 坪井 響己 下田 大翔
出場種目・出場者・リザルト

氏名	坪井	下田
種目	5000m	5000m
組	11組目	12組目
タイム	14'23"88	14'08"55 (入社後ベスト)
順位	30/39	19/37

【レポート】

新年度に入り、当社も1名の選手(東京経済大学卒 内田 翔也)が加入し、選手11名体制で2026年度の活動をスタートさせましたが、シーズン初戦のレースとして日本体育大学長距離競技会に坪井と下田が出場しました。

5000m11組目に出場した坪井は、2月末に行われた大阪マラソンに出走後、体調不良や怪我・故障に見舞われ、練習も消化不良気味の中での出場となりました。

レースは2分50秒/km程のペースで進む中、坪井は序盤から集団の最後方で進めます。

2000m過ぎからはペースが上がり、集団が大きく縦長になる中、坪井は集団からやや離れたものの3000mを8分33秒台で通過すると、後半も粘りの走りを見せ、ペースの落ち込みを最低限に留めて14分23秒台でのゴールとなりました。



シーズン初戦のレースに臨む坪井



万全なコンディションではないものの、粘りの走りを見せた坪井

続いて12組目には、昨年度から好調を維持している下田が13分台の記録を狙ってレースに臨みました。

序盤はいつもの如く集団の最後方で落ち着いた走りを見せ、1000mを2分47秒台の理想的なペースでレースを進みます。

3000mを8分26秒台で通過すると、先頭集団のペースが一気に上がり、下田も途中まではペース変化に対応していましたが、集団との距離が徐々に開きだすと走りにカミが生じ、13分台を狙うには厳しい展開に。

狙っていた13分台のペースには厳しくなったものの、最後は鋭いスパートを見せて、入社後ベストを更新する14分08秒台でのゴールとなりました。



13分台を狙って走る下田



最後は鋭いスパートを見せ前を追う下田

【総 評】

シーズン初戦として臨んだレースでしたが、坪井は練習消化不足ながらも、粘りの走りを見せ、下田は目標とした 13 分台には届かなかったものの、入社後ベストを更新する走りを見せてくれました。

2 名ともまずまずのシーズンインを迎えられたと感じております。

課題としては、チームとしてレースに出場する選手が少ないことが挙げられますので、2 週間後に開催される同記録会では、今回出走していない選手の頑張りに期待したいと思います。

次戦は、4 月 18 日に開催される兵庫リレーカーニバル・アシックスチャレンジ 10000m に救仁郷が 28 分台の記録を狙って走りますので、こちらも皆さまの温かいご声援をよろしくお願いいたします。

以 上

画像提供 : ELDORESO 阿久澤様